

のり面緑化工	種別	法面緑化工	商品名	RC抗菌性樹皮繊維緑化工法 プレストネット工法
--------	----	-------	-----	----------------------------

RC抗菌性樹皮繊維緑化工法

国土交通省 新技術情報No.KK-990028

概要

法面緑化においては、従来機能である景観・法面保護を求めつつ、現地発生材及び他産業から発生する産業廃棄物を利用する多くの工法が提案されている。

本工法は、産業廃棄物として扱われているスギ・ヒノキの樹皮を緑化基盤材として使用することにより、多機能性を有する緑化工法である。

施工は、スギ・ヒノキの樹皮を細かく繊維状に特殊加工し肥料などを混合した後、法面へ吹き付けることにより、樹皮繊維が吹き付け時に毛布状に絡み合い法面と一体化し、法面保護及び緑化基盤材として機能する。

特徴

本工法は厚さ2～5cmで比較的薄くする事が可能。

植生基材吹付工t=5cmが、本工法ではt=3cmで同等以上の機能を有している。

急傾斜緑化が可能。(最大法面勾配1:0.5、1:1.0より緩勾配ではネット・ラス金網不要)

土壌硬度30mm以上での緑化が可能。

土壌水分蒸発抑制効果が大きく早期発芽を実現。

降雨による基盤材の流亡が生じない。

「建設物価」「積算資料」に施工単価を記載。

ワイルドフラワー種子混合による緑花工法も実績あり
(明石海峡国営公園)

郷土種子混合による自然回復緑化も可能



PC抗菌性樹皮繊維緑化基盤材吹付直後



吹付4ヶ月後の植生状況

国土交通省田辺BP峠改良工事法面工 2006.5

近畿CC緑化協会

事務局 (株)相建エンジニアリング

プレストネット工法

国土交通省 新技術情報No.KK-040047

先行して地山に抵抗力を与え、初期崩壊を未然に防止することで災害発生を防ぎ自然景観を保全する工法

概要

本工法は、先行して一定の引張力(受圧板に30kN)をロックボルトに与えておくと同時に、ロックボルト頭部に設置した鋼棒及びウイング鋼材にあらかじめ緊張力や支圧力(支圧板に20kN)を与えておくことで土中の拘束力を高め、崩壊に対する先行抵抗力を初期状態から保持させておくことにより、崩壊を未然に防止でき、また、立木を残して自由に配置を計画でき、緑化工事によって完全な自然回復が可能な工法である。

特徴

補強方法により5タイプに分類。

部材は100%工場製作。

逆巻き工法が容易にできる。

部材重量が最大10kg程度で人力作業により簡単に組み立てが可能。

地山の凸凹や立木にも部材やネット類を組み合わせ、適応ができる。

工程が短縮できる。

鋼製部材であり、法面変状計測が容易にできる。

緑化で部材が完全に隠れる。

公園法、景観法、風致地区への対応。

施工例



国土交通省五條道路西寄足坑口 2006.5

プレストネット工法タイプ により施工

プレストネット工法協会

事務局 (株)相建エンジニアリング

株式会社 相建エンジニアリング

〒553-0003 大阪市福島区福島1-5-16 ナカジマ第2ビル

TEL 06-6455-8711 FAX 06-6455-8661

URL : <http://www.souken-e.co.jp>

E-mail : info@souken-e.co.jp

建設MIL <建設資材・工法データベース>

提供：建設物価メディア(株)

© kensetsu bukka media Inc.